

令和2年度第1回 倉敷市地域福祉基金運営委員会

日 時 令和2年7月31日（金）15時00分～15時44分

会 場 倉敷市役所本庁舎7階 701会議室

出席者

委員 難波委員，平岡委員，中野委員，諏訪委員，山崎委員（監事），植田委員（会長），田野委員
雨坪委員（副会長），木村委員（監事）

事務局

保健福祉局）野田副参事

保健福祉推進課）佐藤課長代理，渡辺主幹，佐藤主任，山砥主事，蓮岡会計年度任用職員

欠席者

委員 中桐委員

傍聴者 なし

議事内容（要旨）

1 開 会

委員9名の出席により，倉敷市地域福祉基金運営委員会規約第9条第2項の規定に基づき，会議が成立していることを確認し，開会を宣言した。

2 議 事 （発言者：◎会長 ○委員 ■事務局）

（1）令和元年度事業報告，決算報告及び監査報告について

■ 資料に従い説明を行った。

<監査報告>

○ 基金の歳入歳出について監査した結果，歳入歳出各科目の収支に関する経理は，基金の目的に沿って適切に処理され，関係帳簿も正確であったことを報告します。

承認

（2）令和2年度事業計画及び予算（案）

■ 資料に従い説明を行った。

○ 助成事業の「在宅福祉等の普及又は向上に関する事業」が交付予定0件だが0件が続いているのか。

■ 以前は「在宅福祉等の普及又は向上に関する事業」を行っていた団体があったが，現在は0件である。ただし，新規団体の中に，高齢者や認知症の方まで幅広い方が住む水害アパートの在宅者の見守り活動などを計画されており，「健康づくり，生きがいくりに関する事業」の項目に記載しているが「在宅福祉等の普及又は向上に関する事業」も行う予定の団体がある。

○ 「在宅福祉等の普及又は向上に関する事業」へ入れ替えるということか。

■ 「在宅福祉等の普及又は向上に関する事業」と「健康づくり，生きがいくりに関する事業」の両方に該当するが，メインとしてはラジオ体操などの健康づくり活動を行うため，項目としては「健康づくり，生きがいくりに関する事業」に入れている。

○ 0件が続いているので，具体的な事例が周知されていないのかなと思ひ，どのようなものを取り入れて申請すればいいのか分からない方がおられるのかなと思ひ，具体的な事例があれば，それをきっかけに申請する団体が出るかもしれない。

◎ 項目は両方にまたがっているが，メインとしては健康づくりということである。

- 委託事業の「しらかべ号」が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で中止という判断だが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えていない状況で来年以降も委託していくものと思っているが、その中でも、目的として障がい者とボランティアの方が生活を共にしてということで非常に良い活動だと思うが、代替の活動は考えられているのか。
- 現時点では、代替となる活動を検討できていない。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、実行委員会とも協議を進めていければと思っている。
- ◎ 感染拡大の予測ができない中で、こういった有意義な事業の代替案があればと思うが、参加者が障がいを持たれているということもあり、実際には難しい面もあるかもしれない。何か前向きな検討ができれば、よろしくお願ひしたい。
- 色々な団体が申請されているが、活動自体が、交流をもつとか集まって何かをするといったものが多く、コロナ禍で活動ができないことが予想されるが、そういった場合はどういう対応をするのか。
- 団体には、今年度の活動をどのようにしていく予定か伺っており、今年度は休止して来年度から徐々に始めていく予定と言われた団体には、今年度の休止を認めている。現時点で休止の承認をしている団体は、助成3年目の4団体である。新規団体については、8団体から交付申請があったと説明させていただいたが、その他に2団体から、新規で申請をするが今年度は休止したいと申し出があったので、この後概要について説明させていただき、協議していただきたいと思っている。休止が認められれば、休止の承認通知を団体に出す予定である。
- ◎ 現在の感染状況が、こういった地域活動にも大きく影響していると思う。この後、新規の2団体の協議が予定されているということで、よろしくお願ひしたい。

承認

(3) 各申請団体の審査について

- 資料に従い説明を行った。
- ◎ コロナ禍でも多くの団体から申請があった。感染に気を付けながらぜひ活動を進めていただきたい。

承認

3 閉会

以上により、議事を終了